

幻想的な世界へようこそ

～民話の語りと影絵と音楽のコラボレーション～

夏も終わり、日に日に涼しさを増してきた九月十日、「民話の語りと影絵と音楽のコラボレーション」が東桂苑を会場に行われました。

この事業は、いなかなかいいなあプロジェクト（田村優子代表・平内新）の主催で、平成二十三年度の地域活性化事業に採択されたもの。

当日は、夜七時から公演にもかかわらず、村内外から予想を上回る約百二十人もの方で会場は満員となりました。

内容は「屁ふりあんにゃ」と「大里峠」の二本立てとなっていて、ユニークな内容の「屁ふりあんにゃ」では子どもたちの笑い声が会場内に響き、「大里峠」では近美千代さん（幾地）の語りと、弘長寺（蛇喰）の高橋晶美住職による琵琶の生演奏が東桂苑を幻想的な世界へと変えました。

新発田市から来た会



▶村に伝わる「大里峠」伝説。子どもも大人も影絵の魅力に夢中になっていました

田忠さんは「語りが本当に素晴らしかった。このような雰囲気の中で本当に素敵なイベントだった。会場も良し、生の琵琶演奏も最高でした」と感動した様子。

また、主催者の田村代表は「予想以上のお客さんが入って正直驚きました。今回の公演に向けて七月から準備をすすめ、ギリギリまで試行錯誤の連続でした。登場人物の感情を表現し、見ている人に伝えるという部分で苦労しましたが、やって良かった。次回に向けて、より一層表現力を磨き、素晴らしい公演にしたい」と目に涙を浮かべ話していました。

次回は十一月三日（木）、東桂苑を会場に午後六時開演の予定。ライトアップされた紅葉と庭園に広がる竹灯ろうの明かりが皆さんをお出迎えします。



勇壮にそして華やかに

～大蔵神社祭礼～

伝統と歴史ある「大蔵神社祭礼」が九月十七日と十八日の二日間、秋晴れのもとで行われ、お神輿を先頭に勇壮な大輪や華やかな山車、樽みこしが下関集落内を練り歩きました。

祭礼は、実行委員会を中心に、青年団や消防団、子どもたちが早くから準備をすすめていたもの。小・中学生も「はやし手」や「太鼓たたき」「踊り手」として祭を盛り上げました。



▶役場前では、小学生女子児童が稚児舞を披露

ぜひ、歴史とみちの館へ
お越しください。
お待ちしております。



「歴史とみちの館」館長に
渡邊忠次さん（村上市員附）

このたび、九月一日付けで
新しく歴史とみちの館館長に
就任することになりました。
初代高橋重右エ門館長、二
代目佐藤貞治館長にはとても
及びませんが、ご指導いただ
きながら皆さんに親しまれる
歴史とみちの館にしていく
よう頑張りますのでよろしく
願います。

診療所の新しい先生です！



太田 昌幸さん
(58歳)

地域の皆さんのために頑
張りますのでよろしくお願い
します。

このたび着任された太田昌
幸先生は、地域医療に携わり
たいと医師を目指し、これま
で愛知県や北海道などで勤務
されてきました。

10月3日以降の診療についてお知らせします

- 診 療 日：月曜日から金曜日（水曜日は午後休診）
- 受付時間： 8時30分から11時30分
13時30分から16時30分

問い合わせ 関川診療所 TEL 64-1051

緑化活動に活かしてほしい
～（財）日本郵政福祉から緑の少年団へ～

9月2日、関川郵便局の本間達也局長から村
緑の少年団育成会会長の野沢専治教育長に、プ
ランターや草刈り機など、10万円相当の品が寄
贈されました。

これは、（財）日本郵政福祉の事業の一環で、地
域の緑化活動に活かしてほしいと郵便局を通じ
て行われているもの。緑の少年団には、プラン
ター20個、刈り払い機1台、ポリバケツ4個、
竹熊手8個が寄贈されました。

野沢教育長は「このたびいただいた物は、緑
の少年団が行っている花植え活動をはじめ、様
々な緑化活動に使わせていただきたい」と話し
ていました。（財）日本郵政福祉では、過去にも特
別養護老人ホーム垂水の里へ10万円相当のタ
オルを寄贈しています。



関川中学校体育館
建設工事は着々と進んでいます

～ 完成は来年2月の予定 ～

耐力度不足により、昨年度から建て替えに向け
準備を進めてきた関川中学校体育館。今年4月の
入学式後に解体工事をを行い、その後建設工事に着
手しました。

工事開始から5か月が過ぎた9月中旬、新体育
館の骨組みはほとんど完成しました。予定通りに
進んでいる体育館の建設工事は、今後、屋根の工
事とコンクリートの打ち込み作業に取り掛かる予
定で、その後、新体育館は来年2月に完成・引き
渡しとなります。

関川中学校の生徒の皆さんも新体育館の完成を
楽しみにしていました。